

平成30年11月14日

各 位

会 社 名 株式会社ダイオーズ
 代表者名 代表取締役社長 大久保 真 一
 (コード：4653、東証第一部)
 問合せ先 執行役員管理本部長 稲 垣 賢 一
 (TEL. 03-3438-5511)

第2四半期連結業績予想と実績値の差異に関するお知らせ

当社は、平成30年5月15日に公表いたしました平成31年3月期第2四半期（累計）の連結業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 平成31年3月期第2四半期（累計）の連結業績予想と実績値との差異 （平成30年4月1日～平成30年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回予想 (A)	百万円 15,118	百万円 585	百万円 537	百万円 376	円 銭 27.98
実績値 (B)	15,817	726	730	491	36.59
増減額 (B-A)	698	141	193	115	—
増減率 (%)	4.6	24.1	36.1	30.8	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成30年3月期第 2四半期)	14,424	768	763	461	34.35

2. 業績予想との差異の理由

当社は、国内部門の連結子会社株式会社ダイオーズ ジャパンにおいては契約顧客件数が過去最高件数を更新しており、売上高が期初予想を上回り進捗しております。一方で米国部門の連結子会社Daiohs U. S. A., Inc.においてはM&Aを中心とした新規市場への進出が好調に推移した結果、営業人員増加に向けた投資を当初の予定より抑えつつ、売上高の予算を達成いたしました。これらの結果、売上高、営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する四半期純利益が期初予想を上回る結果となりました。

3. 今後の見通し

平成31年3月期通期業績の見通しにつきましては、平成30年5月15日に公表しました予想値を据え置いておりますが、今後業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに公表いたします。

※ 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上